

交通安全の啓発活動に 尽力しました

交通安全指導員として、多年にわたる交通指導等の実践活動が評価され、市山ミツ子さんと菊地キミ子さんに北海道知事より「北海道善行賞」が贈られました。

また、交通安全運動期において街頭指導などを行い、歩行者の安全指導に努められたことが評価され、社団法人北海道交通安全推進委員会より、交通安全指導員として松坂悦子さんと菊地昌代さん、団体として木ノ子米寿会が表彰されました。



町長室において受賞者4人で記念写真

手打ちそば体験行われる

町物産センター連絡協議会主催による「手打ちそば体験」が、2月27日、道の駅「もんじゅ」で行われました。

この日は、市山しづ子さんを講師として招き、約20人が参加。女性だけではなく、男性の姿も目立ちました。

参加者は、自ら打ったそばを自分たちで食べるといった貴重な体験をし、最高のぜいたくを味わっていました。



夫婦でそばづくりを体験している方もいました

農業の活性化を目指して 農業者が商工業者と懇談

農業者のやりがい盛り上げるため、地元の飲食店や旅館などの商工業の方に地元農産物を知ってもらおうと2月21日、農業者5人と商工業関係者6人が出席し、懇談をしました。

農業者からは「地元の農産物を利用してほしい。作付現場を見てほしい。」一方、商工業者からは「地元の農産物を使いたいのが、どんな農産物があつて、どのように入手できるのか」などの意見が出され、本町農業について、その実態を知らないことが明らかに、参加者は情報発信や交流、地域のつながりを築いていく必要性を実感しました。



農業者と商工業者の懇談会の様子

森林の施業集約化の 普及・定着を目指して

檜山振興局森林室による「森林施業集約化普及・定着促進事業」が、本年度本町で実施され、町内でモデル地区を設定し、室内・現地研修や所有者懇談会および他町の利用間伐事例や林産業者との木材需要の情報交換会などを開催しました。

町では、同事業の実施により、採算性のある搬出間伐の方策について検討し、集約化施業の必要性を認識したところであり、来年度以降も、森林室の支援により森林組合等事業体や関係機関と連携し、その普及・定着に努めてまいります。



現地研修会の様子